



JQA-2631 (本社工場)
JQA-EM3548 (本社工場)



ナノシリコンテクノロジー

ハイラジカル制御

ナノシリコン樹脂エマルジョン塗料 **外壁用**

ナノシリコンW

NANO SILICON W



MIZUTANI
NANOTECHNOLOGY

省資源で高性能

壁用塗料において耐久性は、必須の性能です。

水谷ペイントは、これまで多種の壁用塗料を提案してきました。

特にシリコン樹脂塗料は得意とする分野です。

ナノテクノロジーを駆使することでシリコン樹脂の持つポテンシャルを

最大限に発揮することが可能となりました。

限りある資源だから…

省資源で高性能な、従来のアクリルシリコン塗料の概念から

大きく逸脱したナノシリコンWが完成しました。

そして新しい技術「ナノシリコンテクノロジー」が確立されました。



MIZUTANI
NANOTECHNOLOGY
ナノテクノロジー



ナノシリコンテクノロジー



リアルシリコンテクノロジー
(シリコン樹脂開発技術)

Nano Silicon Technology

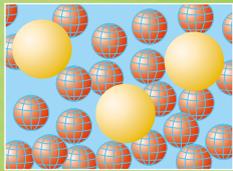
ナノシリコンテクノロジー

水系塗料が塗膜になる過程

塗料は主に樹脂、顔料という原料をブレンドして作られています。ナノシリコンWのような水系塗料の樹脂は、エマルジョンと呼ばれ下図のような球体の粒子の形状をしており、水に分散されています。

1

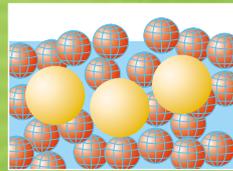
水中に分散している樹脂粒子が、水の蒸発とともに接近・接着



■ 水 ■ 顔料 ■ 樹脂

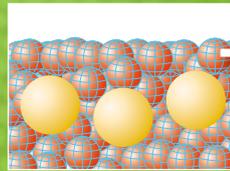
2

水の蒸発がさらに進むと、樹脂粒子が変形し一体化（融着）を開始

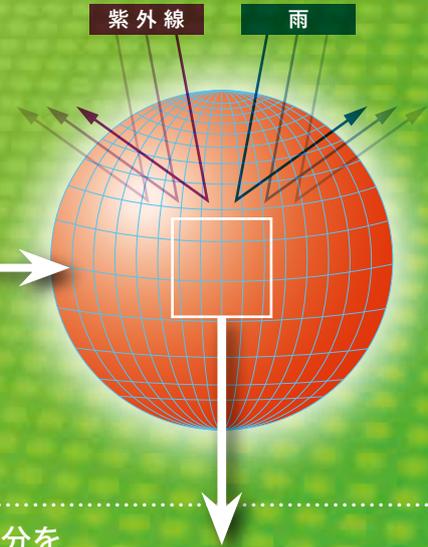


3

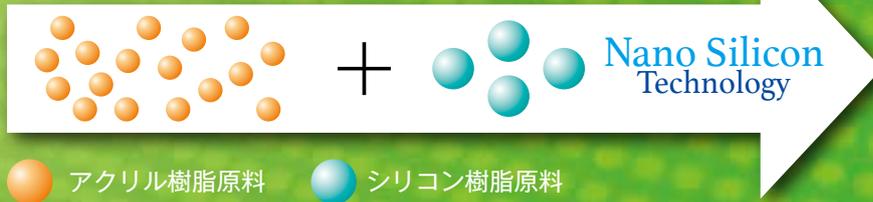
すべての樹脂が完全に一体化、連続塗膜を形成



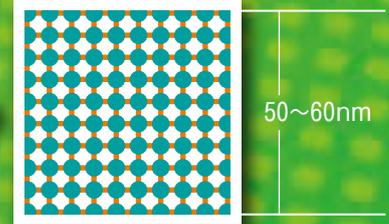
ナノシリコンエマルジョン樹脂粒子



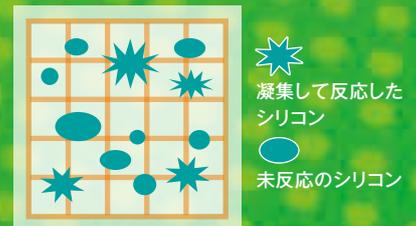
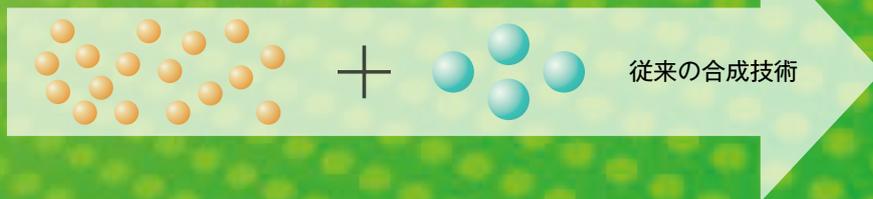
ナノシリコンテクノロジーによりアクリル成分とシリコン成分をナノスケールで均一に融合させ、シリコン樹脂のポテンシャルを最大限まで引き出すことに成功



均一に融合



従来の技術では反応性の違うアクリル成分とシリコン成分を均一に合成することは不可能でした。



特長

超耐久性

ナノシリコンテクノロジー

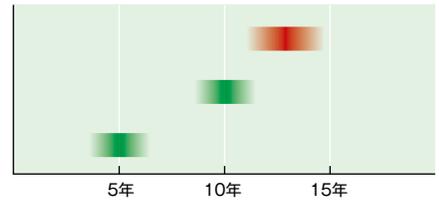
とハイラジカル制御技術により、紫外線や酸性雨などから外壁を守り、耐久性を格段に向上させます。また、長期間色あせず鮮やかな色彩を維持します。

● 期待耐久年数

NANO SILICON ナノシリコンW

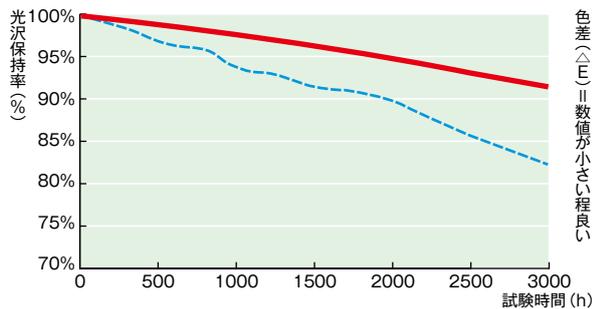
水系アクリルシリコン (当社品)

水系アクリル塗料 (当社品)

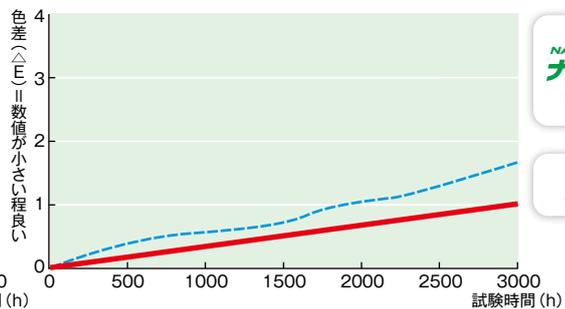


促進耐候性試験結果 (キセノンランプ法)

● 光沢保持率



● 色差



ハイラジカル制御技術

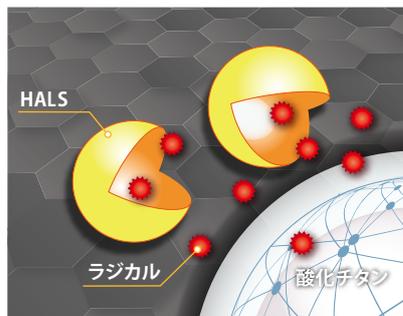
塗膜の劣化原因「ラジカル」を3つの技術で高レベルに制御!

酸化チタンの表層保護



ラジカルの発生源である酸化チタンの表層を保護し、ラジカルの発生を抑制します。

HALSによるラジカル補足



発生したラジカルを補足するHALSを、一般的な添加とは異なり、酸化チタンの周りにより多く配置させることで効率良くラジカルを補足します。(ハイラジカル制御)

UVAによる塗膜保護



ラジカル発生のエネルギー源となる紫外線を変換し、ラジカルの発生を抑制します。

耐汚染性

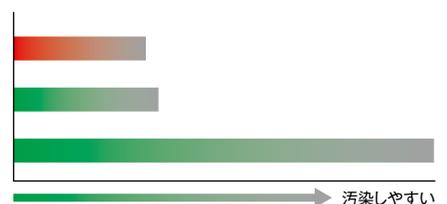
ナノシリコンテクノロジーにより強靱で柔軟性に富んだ塗膜が優れた耐汚染性を発揮します。

● 耐汚染性比較

NANO SILICON ナノシリコンW

水系アクリルシリコン (当社品)

水系アクリル塗料 (当社品)

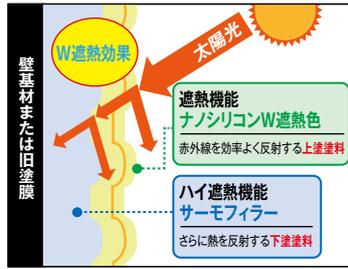


優れた遮熱機能 (遮熱色)

ナノシリコンWの遮熱色(8色)は太陽光の赤外線を効率よく反射することにより外壁の温度上昇を抑えます。

遮熱工法と遮熱効果試験結果

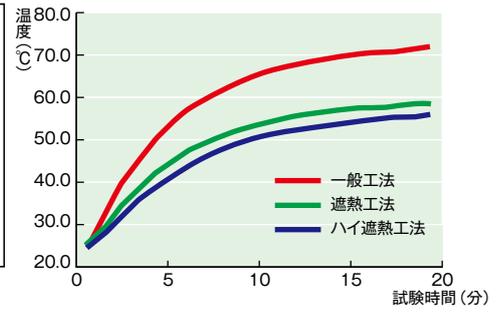
● ハイ遮熱工法



※ モルタル面や旧塗膜に劣化がある場合は、シーラー塗装が必要です。
※ サイディングボードへの塗装は遮熱工法のみ対応となります。

● 遮熱効果

試験色：サーモW-2



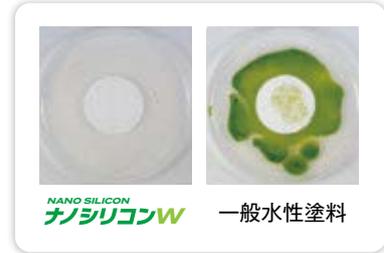
防カビ・防藻性

外壁の美しさを損ない、劣化を促進させるカビや藻を長期間にわたって防ぎます。

● 防カビ試験結果



● 防藻試験結果



防火認定材料

ナノシリコンWの塗膜は、防火認定材料として認定されています。

合成樹脂
エマルジョンペイント

NM-8585 / 不燃材料
QM-9816 / 準不燃材料
RM-9364 / 難燃材料

優れた仕上がり

● 艶有りタイプ

優美な艶が、住宅の資産価値を高めます。

● 3分艶有りタイプ

高級感がある落ち着いた仕上がりになります。

低臭・無公害

水系塗料なので、臭いはもちろん有害物質を発揮することはありません。

優れた作業性

- ローラー施工時の塗着効率が良く、優れた隠ぺい性を発揮し、肉持ち感ある塗膜が得られます。
- スプレー、刷毛でも施工が可能です。
- リフレッシュファイラーは、JIS A 6909 可とう形合成樹脂エマルジョン系改修用仕上塗材(可とう形改修塗材E)です。

塗膜性能

試験名	試験内容	結果
硬度	鉛筆硬度	F~H
付着性	4mm角クロスカット付着テープはがれ	異常なし
耐水性	水道水 常温1ヶ月浸せき	異常なし
耐アルカリ性	飽和水酸化カルシウム水溶液	異常なし
温冷繰返し性	JIS A 6909 7.10 10サイクル	異常なし
促進耐候性	キセノンランプ法 2,500時間	△E<1

適応下地

- 窯業系サイディングボード
- 薄付け仕上塗材
- 金属系サイディングボード
- 複層仕上塗材
- 波形スレート
- コンクリート・モルタル

ナノシリコンW 一般色

1. 新規塗装・改修塗装（コンクリート・モルタル素地）

■ テクスチャーをつける場合（JIS A 6909 可とう形改修塗材E）

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	モルタル、PC、RC等の下地に付着しているレイタンス、土砂、ホコリ、油脂類は除去し、水分率5%以下（デジタル水分計）、pH10以下に管理する。欠け、不陸部分は樹脂モルタルであらかじめ補修する。								
下塗り	水系Wシーラー 15kg	既調合	ハケ・ローラー	0.1~0.2	1	75~150	-	2h以上	-
下地調整材	リフレッシュファイラー 16kg	1~3% (希釈水)	マスチックローラー	0.8~1.5	1	11~20	-	16h以上	-
上塗り	ナノシリコンW (一般色) 15kg	3~10% (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.12~0.16	2	47~62	2h以上	-	24h以上

※ エフロレシエンスの発生が懸念される場合は、下塗りに「2液マイルドウォールシーラー」を塗装してください。

■ テクスチャーをつけない場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	モルタル、PC、RC等の下地に付着しているレイタンス、土砂、ホコリ、油脂類は除去し、水分率5%以下（デジタル水分計）、pH10以下に管理する。欠け、不陸部分は樹脂モルタルであらかじめ補修する。								
下塗り	水系Wシーラー 15kg	既調合	ハケ・ローラー	0.1~0.2	1	75~150	-	2h以上	-
上塗り	ナノシリコンW (一般色) 15kg	3~10% (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.12~0.16	2	47~62	2h以上	-	24h以上

※ エフロレシエンスの発生が懸念される場合は、下塗りに「2液マイルドウォールシーラー」または「リフレッシュサフェーサーエポ」を塗装してください。

※ 上塗りの色と下地の色の差が大きい場合は、隠ぺい不足となる可能性があるため、下塗りは「水系Wシーラー 白」をご使用ください。

2. 改修塗装（複層仕上塗材、薄付け仕上塗材）

■ テクスチャーをつける場合（JIS A 6909 可とう形改修塗材E）

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物（ゴミ、ホコリ、苔、カビ、油脂類）をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、充分に乾燥させる。								
下地調整材	リフレッシュファイラー 16kg	1~3% (希釈水)	マスチックローラー	0.8~1.5	1	11~20	-	16h以上	-
上塗り	ナノシリコンW (一般色) 15kg	3~10% (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.12~0.16	2	47~62	2h以上	-	24h以上

※ 旧塗膜の劣化が著しい場合は、下塗りに「水系Wシーラー」をご使用ください。

■ テクスチャーをつけない場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物（ゴミ、ホコリ、苔、カビ、油脂類）をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、充分に乾燥させる。								
下地調整材	リフレッシュサフェーサーエポ 16kg	3~5% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.2~0.5	1	32~80	-	3h以上	-
		4~6% (希釈水)	エアレス	0.3~0.5		32~53			
上塗り	ナノシリコンW (一般色) 15kg	3~10% (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.12~0.16	2	47~62	2h以上	-	24h以上

※ 旧塗膜の劣化が軽度な場合は、「リフレッシュサフェーサーエポ」のかわりに「水系Wシーラー」も使用可能です。ただし、リシンには「リフレッシュサフェーサーエポ」を推奨します。

※ 上塗りの色と下地の色の差が大きい場合は、隠ぺい不足となる可能性があるため、下塗りは「水系Wシーラー 白」をご使用ください。

3. 改修塗装（窯業系サイディングボード）※ テクスチャーは変えられません。

■ 旧塗膜の劣化が著しい場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物（ゴミ、ホコリ、苔、カビ、油脂類）をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、充分に乾燥させる。								
下地調整材	リフレッシュサフェーサーエポ 16kg	3~5% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.2~0.5	1	32~80	-	3h以上	-
		4~6% (希釈水)	エアレス	0.3~0.5		32~53			
上塗り	ナノシリコンW (一般色) 15kg	3~10% (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.12~0.16	2	47~62	2h以上	-	24h以上

※ 光触媒・無機・フッ素系のものでコーティングされた基材や経年劣化していない基材には付着しない場合がありますので、付着性を確認の上、施工してください。

※ 旧塗膜の劣化が軽度な場合は、「リフレッシュサフェーサーエポ」のかわりに「水系Wシーラー」も使用可能です。

※ 「水系Wシーラー」を使用する場合、上塗りの色と下地の色の差が大きい場合は、隠ぺい不足となる可能性があるため、下塗りは「水系Wシーラー 白」をご使用ください。

4.改修塗装（金属系サイディングボード）

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。ゴミ、汚れ、油分を除去し、乾燥した正常な面にする。								
下塗り	水系ハイエボン 主剤9kg、硬化剤6kg	5~7% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.16~0.18	1	83~94	—	16h以上 7日以内	—
上塗り	ナノシリコンW (一般色) 15kg	3~10% (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.12~0.16	2	47~62	2h以上	—	24h以上

※ 光触媒・無機・フッ素系のものがコーティングされた基材や経年劣化していない基材には付着しない場合がありますので、付着性を確認の上、施工してください。
 ※ 別途「エポックマイルド #2000」も使用可能です。 ※ 上塗りの色によっては3回塗装が必要な場合もあります。 ※ 寒冷地区の塗装については、別途営業担当者にお問い合わせください。

5.その他の下塗り材

■エフロレッセンスの発生が懸念される場合（2液マイルドウォールシーラーは溶剤系の塗料となります。）

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
下塗り	2液マイルドウォールシーラー 主剤10kg、硬化剤1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	0.1~0.15	1	73~110	—	5h以上 7日以内	—

※ シーラーの吸い込みが激しい場合は、再度全面にシーラーを塗装してください。

■難付着性サイディングボードの場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
下塗り	高密着シーラー 主剤10kg、硬化剤1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	0.1~0.15	1	73~110	—	5h以上 7日以内	—

※ 光触媒サイディングの場合、上塗り塗料は必ず規定量を塗付していただき、塗りムラや透けないようにお願いいたします。

ナノシリコンW 遮熱色

1.ハイ遮熱工法（複層仕上塗材、薄付け仕上塗材）

■旧塗膜に劣化がない場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物（ゴミ、ホコリ、苔、カビ、油脂類）をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下地調整材	サーモフィラー 10kg	0~2% (希釈水)	マッシュローラー	0.7~1.0	1	10~14	—	16h以上	—
			ウールローラー	0.35~0.5	2		2h以上		
上塗り	ナノシリコンW (遮熱色) 15kg	3~10% (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.12~0.16	2	47~62	2h以上	—	24h以上

※ 塗付量は条件（劣化状況、テクスチャー等）により増減します。 ※ 旧塗膜の劣化が著しい場合は、「水系Wシーラー」を塗装してから上記仕様にて塗装してください。

■旧塗膜に劣化がある場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物（ゴミ、ホコリ、苔、カビ、油脂類）をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下塗り	水系Wシーラー 白 15kg	既調合	ハケ・ローラー	0.1~0.2	1	75~150	—	2h以上	—
下地調整材	サーモフィラー 10kg	0~2% (希釈水)	マッシュローラー	0.7~1.0	1	10~14	—	16h以上	—
			ウールローラー	0.35~0.5	2		2h以上		
上塗り	ナノシリコンW (遮熱色) 15kg	3~10% (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.12~0.16	2	47~62	2h以上	—	24h以上

※ 塗付量は条件（劣化状況、テクスチャー等）により増減します。 ※ 旧塗膜の劣化が著しい場合は、「水系Wシーラー」を塗装してから上記仕様にて塗装してください。

2.遮熱工法（窯業系サイディングボード、複層仕上塗材、薄付け仕上塗材）

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	モルタル、PC、RC等の下地に付着しているレイタンス、土砂、ホコリ、油脂類は除去し、水分率5%以下（デジタル水分計）、pH10以下に管理する。								
下塗り	水系Wシーラー 白 15kg	既調合	ハケ・ローラー	0.1~0.2	1	75~150	—	2h以上	—
上塗り	ナノシリコンW (遮熱色) 15kg	3~10% (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.12~0.16	2	47~62	2h以上	—	24h以上

※ 塗付量は条件（劣化状況、テクスチャー等）により増減します。 ※ 窯業サイディングボードは、サーモフィラーを塗装できませんので遮熱工法のみ施工になります。

〈 塗装使用上の注意事項 〉

※ 雨水が集中して流れる箇所は（躯体を保護するために）、あらかじめ「水系Wシーラー」でタッチアップしてください。
 ※ 軒天、上裏など水廻りが予想される場所にはリフレッシュフィラーを塗装しないでください。クラック、剥離の原因になりますのでシーラー+上塗り（2回塗り）で仕上げてください。

※ 塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。
 ※ 下地のテクスチャーパターンにより、上塗り3回塗りを必要とする場合があります。
 ※ シーラーの吸い込みが激しい場合は、再度全面にシーラーを塗装してください。
 ※ 旧塗膜が弾性塗材の場合、爪で押して弾性が残っている場合は塗装を避けてください。

荷姿

- ナノシリコンW (一般色・遮熱色) 15kg、4kg
- 水系Wシーラー 15kg
- リフレッシュフィラー (JIS A 6909 可とう形改修塗材E) 16kg
- リフレッシュサフェーサーエポ 16kg
- サーモフィラー 10kg
- 2液マイルドウォールシーラー 11kgセット (主剤10kg 硬化剤1kg)

注意事項

(仕様全般)

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。
2. 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
3. 塗装乾燥過程で降雨にあった場合、雨水の集中する部位に於いて、汚れが付着することがあります。適切な養生を行うなどして直接雨が当たらない様な処置をお願いします。
4. 上塗材は所定の乾燥時間(最終養生時間)を厳守してください。施工後、塗膜が乾燥するまでの時間内に降雨などにより、塗膜表面が長時間、水分がかかった状態になりますと、所定の低汚染機能が発揮されない場合があります。低汚染機能は乾燥後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨などが予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に雨が当たらないよう所定の乾燥時間を厳守してください。
5. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目直しを行って再度塗装してください。
6. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
7. 低温、高温時は乾燥が遅くなることがありますので、塗装後1~2日は、粉じんなどの汚染物質の付着にご注意ください。
8. 水洗後、1日以上乾燥を行ってください。
9. 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足・仕上がりが不良等につながりますのでご注意ください。
10. 塗装間隔時間は標準であり、立地条件や気象条件により異なります。
11. ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗分量・表面肌が異なるために若干の色相差がでますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
12. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
13. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
14. ガラス・アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにウエスに水をしみ込ませてふき取ってください。乾いた時は、ラッカーシンナーでふき取ってください。
15. 酸洗いを行う場合は、水をかけた後に行い、その後の水洗は念入りにしてください。
16. 目地部が深い場合は、目地ハケなどで塗装してください。
17. 目地部に塗料がたまった場合や、たれが発生した場合はむら切りしてください。
18. 塗装中に塗料を開放して放置しますと上乾きすることがありますのでご注意ください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
19. 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット・同一塗装方法で補修してください。また適正希釈にご注意ください。
20. 汚れ・傷等により補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
21. 防カビ・防藻性については、下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
22. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがあるため、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプをご使用ください。
23. ハテを使用する際は外部用ハテをご使用ください。
24. 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など、彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、隠ぺい性の良い共色であらかじめ塗装を行ってください。
25. 3分艶の場合、濃色や原色に近い色は、塗膜を強くすると色落ちや白い擦過痕が残る場合があります。衣類などが触れる可能性がある部位への施工は避けてください。
26. 旧塗膜が弾性塗材の場合は施工を避けてください。スキンの場合は当社営業担当までご相談ください。
27. 水系塗料に使用するハケ・ローラーは、水系専用のものをご使用ください。
28. 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
29. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

(塗料に関する注意)

1. 使用前には充分攪拌してください。
2. サーマ色(遮熱色)の塗分量不足は、熱反射率や耐久性の低下につながりますので、塗分量を厳守してください。
3. サーマ色(遮熱色)は、塗分量が少ないと色相が違って見えたり、充分に隠ぺいしないことがありますので、塗分量は厳守してください。
4. 遮熱効果は色相によって異なります。特に旧塗膜の明度が高く、塗り替えた塗膜の明度が低い場合は、遮熱効果が低下する場合があります。
5. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いの原因となります。
6. 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
7. 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
8. 排水溝には捨てないでください。
9. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分にご注意ください。
10. 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

本 社	☎ 532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101
大 阪 支 店	☎ 532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
西日本開発部	☎ 532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
東 京 支 店	☎ 101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
東日本開発部	☎ 101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
北関東支店	☎ 348-0038 埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124
中 部 支 店	☎ 486-0815 愛知県春日井市十三塚町3-6	☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556
広 島 支 店	☎ 734-0022 広島市南区東雲1-13-16	☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017
福 岡 支 店	☎ 811-2304 福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301
仙 台 営 業 所	☎ 984-0042 宮城県仙台市若林区大和町1-22-36	☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871
札 幌 営 業 所	☎ 003-0006 札幌市白石区東札幌6条5-2-6	☎ (011) 824-5711 FAX (011) 824-6464
工 場	本 社・埼玉・中部・広島・福岡	

特約店

塗料相談室 塗料に関するご質問、お問い合わせは…



☎ 06-6391-3039

営業時間：午前 9:00～12:00 午後 1:00～3:00

2109050685475

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。